

Case 7-2006: A 47-Year-Old Man with Altered
Mental Status and Acute Renal Failure
(Volume 354: 1065-1072)

【症例】 47 歳男性 【主訴】 意識障害、急性腎不全

【Problem list】

#1. 意識障害

受診前日、午後 9 時の時点でだるさを訴えている。午前 3 時半には起こそうとしても反応がなく、その後も意識状態は悪化した。また、E R 到着 30 分後には強直間代けいれんを認めた。

#2. 急性腎不全

他院の E R 到着時、クレアチニン 3.8mg/dl。当院到着後の検査でも、2.8mg/dl と、腎機能障害を認めた。尿の色は正常であった。

#3. 電解質異常

当院到着後の検査で、pH 7.10, HCO₃ 13.6 で、代謝性アシドーシスを認めた。これに加えて、anion gap が 25mmol/と、増加を認めた。浸透圧は 321mOsm/kg と高値で、osmolal gap は 8 mOsm/kg であった。

また電解質で、低カルシウム血症が認められた。ほかには高血糖が見られるが、到着前に受けていた輸液と、ストレス反応による上昇と考えられる。

#4. 尿沈渣中、needle shaped crystals 多数